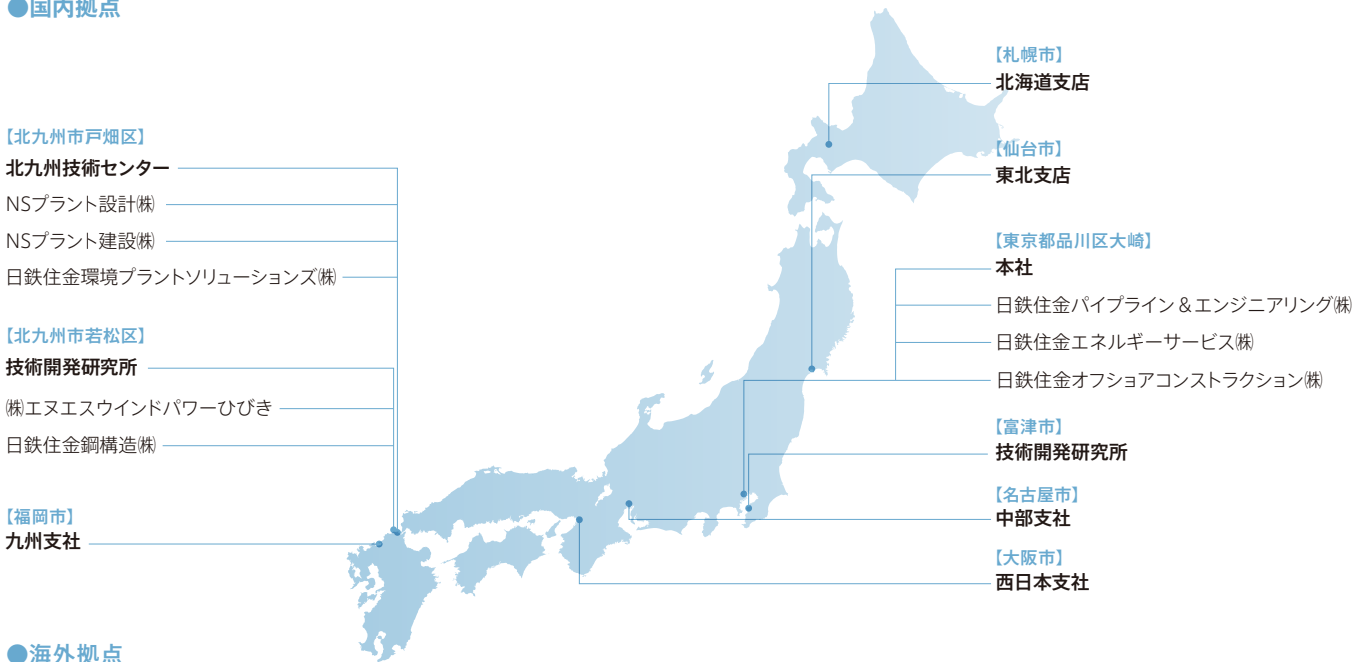


●社名	新日鉄住金エンジニアリング株式会社
●本社所在地	〒141-8604 東京都品川区大崎1丁目5番1号 大崎センタービル
●設立	2006年7月1日(新日本製鐵株[現:新日鐵住金株]のエンジニアリング部門が分社独立)
●社員数	単独:1,173名/連結:4,702名(2018年3月31日現在)
●資本金	150億円
●財務情報(2017年度 連結)	受注高/4,020億円(国内85%、海外15%) 売上高/2,942億円(国内84%、海外16%) 経常利益/91億円 総資産/2,470億円



●国内拠点



●海外拠点



●事業領域

製鉄プラント領域

- 製鉄設備 ● 製鋼設備 ● 連続鋳造設備 ● 圧延設備 ● 鋼板処理設備
- 環境・省エネ対応型設備

環境ソリューション領域

- 廃棄物発電プラント ● 資源循環プラント
- 下水汚泥固形燃料化システム(ジェイコンビ®) ● 土壌・地下水浄化

エネルギーソリューション領域

- オンサイトエネルギー供給事業 ● 電力小売事業 ● 地熱発電関連プラント ● 風力発電事業
- エネルギー施設(LNG・LPG・原油受払基地、貯蔵設備) ● 水素ステーション

海洋鋼構造領域

- 石油・天然ガス開発施設(プラットフォーム・海底パイプライン)
- 海洋インフラ整備(沿岸開発・港湾・洋上空港・洋上風力)

建築・鋼構造領域

- 総合建築(工場・倉庫等) ● システム建築
- 特殊鉄構(超高層・大空間鉄骨・木鋼ハイブリッド構造)
- 鋼構造商品(免制震デバイス・橋梁商品)

パイプライン領域

- 陸上パイプライン(天然ガス・石油・都市ガス等)
- 水道施設(老朽管路の更新・更生、水管橋等)

第三者意見

CSRには主に2つの側面があります。まずは事業を通じた社会的価値の創造です。プラントや鋼構造などの事業を通じて、どのような社会をめざすかといったビジョンが重要になります。もう1つは事業を通じて及ぼす負の影響に対する責任です。こちらは法的な責任のみならず、道義的な責任(社会的責任)も含まれ、経営者の倫理観やガバナンスが重要視されます。いずれの側面も、企業がグローバル社会の一企業市民として、どのような意思を持った存在であるかが問われます。こうした視点で2018年度のCSR活動を振り返ってみます。

藤原社長が志向する社会像は明確です。エンジニアリング会社としての存在意義を、30年もしくは50年後を見据えたサステナブルな産業・社会インフラの実装としています。これは、短期的な収益、あるいは短期的に消費されるものよりも、長期的に価値を生むもの、または長期的に社会に根付く価値創造に焦点を当てたものといえます。

こうしたビジネスモデルにあって、常に時代の一步先を行く技術革新を追求

するといった姿勢は、まさに同社の競争力の源泉となる企業文化といえます。時流に先駆けて課題を発見し、その課題解決に挑戦するといった行動や、それを許容する企業の器が重要です。

同社はSDGs(持続可能な開発目標)に基づき、自社事業を再整理しています。中でも、特集にある大規模沖合養殖システムや一般廃棄物溶融スラグの肥料化などは、従来の技術の用途をずらして活用することで新たな価値を生み、社会・環境課題の解決に貢献できるといった興味深い事例です。

こうした社会・環境課題を先取的に見極め、事業展開するまでのプロセス、つまり人材の採用や教育、技術の事業化までの仕組みといった、同社の競争優位性の源泉を、いかに経営が最大化しているかといった情報は、ステークホルダーが企業の持続可能な成長を見極めるうえで重要な要素といえます。今後、こうした点についても言及されることを期待します。

一方、負の影響の最小化という社会的責任意識については、多くの企業の中の平均的な取り組みに留まっています。特に、社会的関心の大きい安全衛生や環境、調達において、それなりの開示はあ

るものの、どの目標に向けて何を実施し、その結果どういったリスクや問題が発見されたのか、マネジメントの仕組みやガバナンスが機能しているのか否かの判断材料は、ほぼ示されていません。

どのような会社でも何らかの問題はあります。誰もが直面しうるリスクに日頃から備えているか。万が一の場合、対処もしくは説明責任を果たす能力があるか。こうした経営力が問われます。特に、ビジネスがグローバル化する中、同時に多様な人材が社員またはビジネスパートナーとなる中、CSRの負の最小化といった面でも世界を見据えて更に一步先を行く企業であって欲しいと期待します。



EY Japan
Climate Change and
Sustainability Services Leader
Principal
牛島 慶一